



西消防団だより

令和8年6月発行（通算第12号）

発行/編集：横浜市西消防団広報委員会 〒220-0041 横浜市西区戸部本町50-11 西消防署消防団係内（TEL045-313-0119）

西消防団史上初 神奈川県大会出場へ



去る令和七年十一月、山下埠頭において「令和七年度横浜市消防技術訓練会」が開催されました。市内各区の代表が集い、消防技術の正確さとスピードを競い合うこの大会において、西消防団第二分団が見事、消防団部で準優勝に輝きました。これは西消防団史上初の快挙となります。

各選手は、それぞれ仕事や学業に励む傍ら、夜間や休日を利用して厳しい訓練を積み重ねてきました。予期せぬ欠員、メンバー変更などのアクシデントを乗り越えた中での今大会での活躍は、その努力の結晶であり、私たちの街の防火体制が高い水準にあることを証明するものです。表彰式では、団員たちの引き締まった表情が印象的でした。

西消防団は、本年七月十一日に開催される、第五十六回神奈川県消防操法大会に出場するため、より一層の技術向上を目指して日頃の訓練に取り組んでいきます。自分たちの街を自分たちで守る。その強い使命感を胸に、西消防団はこれからも地域の安全のために活動を続けていきます。

車両救助救出訓練

令和八年二月、西消防団は三箇分団全十班が結集し、コロナ禍による中断を経て実に六年振りとなる「車両救助救出訓練」を西消防署中庭にて実施しました。

今回の訓練は、大規模交通事故等に備えた車両からの救助能力向上を主眼としたもので、まずは横浜市消防局から全分団へ貸与・配置されている救助資機材の取り扱い習熟訓練から開始されました。続く実践的なシミュレーション訓練では、浅間町特別救助隊（YR）隊長から付与された想定に基づき、油圧救助資機材や手動式油圧切断機、ストライカー、RCバール等を駆使した車両破壊訓練を展開。



特殊救助用ノコギリでフロントガラスを切断



要救助者の頸椎を固定して安全に搬送する訓練



衝撃式破壊救助器具での自動車ドアの破壊



班長を小隊長とした組織的な指揮命令系統の下、団員たちは車内へ進入して要救助者の意識確認を行い、バックボードやネックカラーといった救急外傷資機材を用いて頌椎・頭部を確実に保護する全脊柱固定を施した後、車外へと安全に搬送するまでの一連の手順を、参加した全団員が実践しながら遂行しました。

横浜の玄関口を担う「都市型消防団」として、特別救助隊の全面協力と指導のもとで行われた今回の署団連携訓練は、団員の技術向上のみならず士気の高揚にも繋がる極めて有意義なものとなりました。西消防団は今後も継続的なスキルアップを図り、地域の安心・安全を守るための対応力を磨き続けてまいります。

中層建物火災対応訓練



要救助者の搬送

令和八年二月十五日、西消防団は西区内の三菱重工業株式会社様より訓練場として借用している旧共同住宅において、「中層建物火災想定訓練」を実施しました。この訓練は、西消防署部隊と消防団全隊（三個分団十隊）が合同で臨んだ署団連携訓練であり、中層建物における火災への対応能力向上と、有事における緊密な協力体制の構築を目指したものです。

訓練は、実戦さながらの総合的かつ実践的な内容となりました。現場指揮本部の運営体制強化を筆頭に、確実な火災防ぎよ訓練やホースの延長要領の確認が行われたほか、高所へのホースや消防資機材の吊り上げ・吊り下げ訓練、さらには建物内からの負傷者救出訓練など、多岐にわたる重要な検証が展開されました。

共同住宅という高さや構造上の難しさを伴う現場想定で、資機材の確実な高所搬送や負傷者救出をやり遂げた今回の経験は、団員にとって非常に大きな財産となりました。この訓練で培った立体的な火災への対応力と、指揮本部を通じた緊密な連携を糧に、西消防団は実際の災害時にも消防署と一体となり、市民の安全・安心を最優先に守り抜くため、さらなる技術の練磨に邁進してまいります。

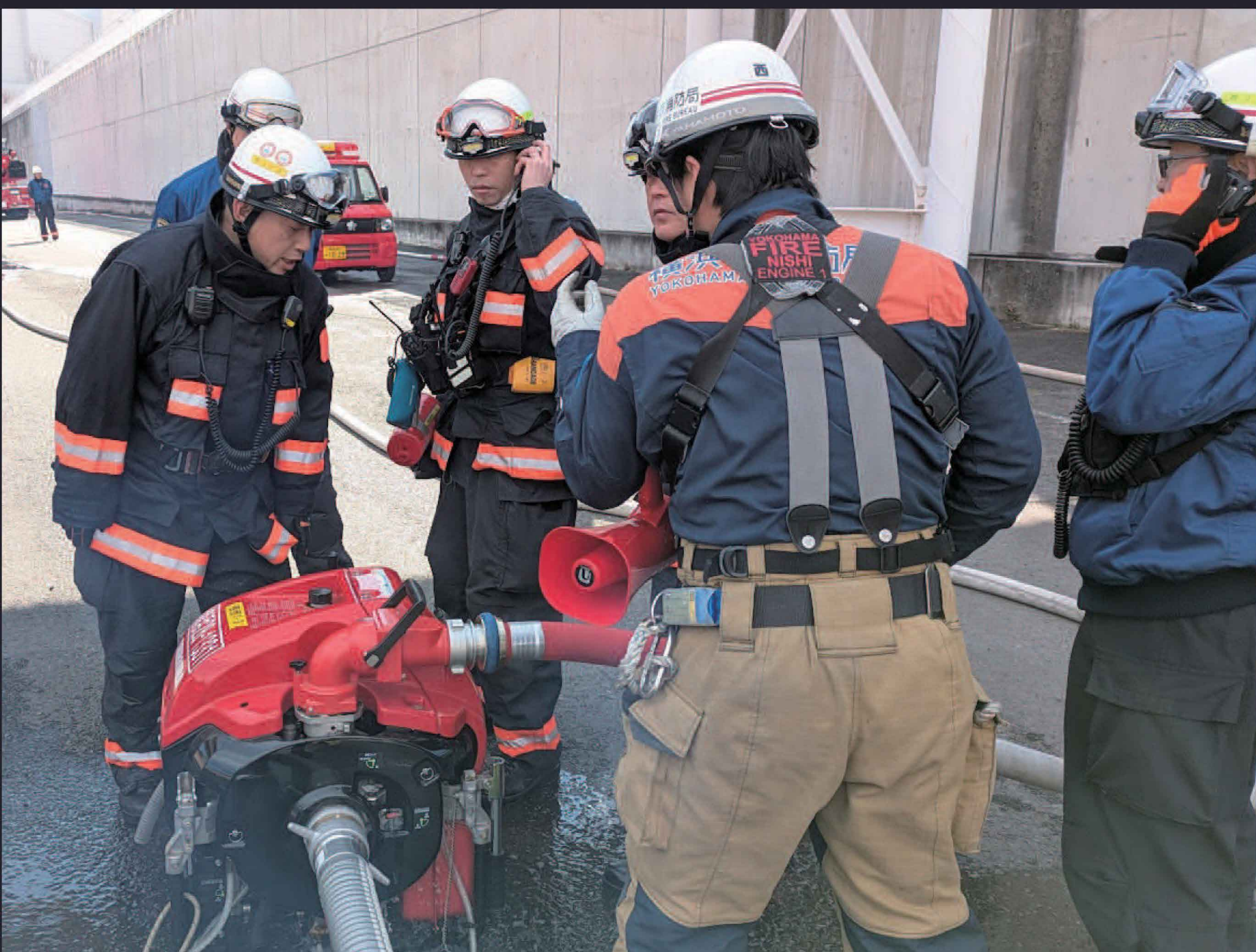
高所へのホース吊り上げ延長

署団連携震災対策遠距離送水訓練

令和八年一月二十五日、西消防団はパシフィコ横浜の敷地において、西消防署と合同で大規模な長距離送水訓練を実施しました。この訓練は、大規模震災によって水道網が断絶し、街中の消火栓が一切使用不能になった事態を想定したもので、災害対応能力の向上と署団のさらなる連携強化を最大の目的としています。

震災発生時、水利の確保が困難な状況下では、海や川といった遠方の水源から複数台の消防団のポンプとホースを繋ぎ、区内各所の防火水槽へ補水を行う中継送水が不可欠となります。

当日は消防団員から四十名、消防署は西第1・西第2消防隊、浅間町特別救助隊、そして境之谷消防隊が参加し、消防団ポンプの性能確認や長距離送水時における圧力損失の実測値計測、送水計画に基づいた指揮所運用訓練や区内補水計画のブリーフィングなど、非常に実践的な訓練が展開されました。



有事に備え、消防団と消防署が手を取り合って防火水槽への水利を確保する訓練は極めて重要であり、訓練を通じて日頃から顔の見える関係を築き、互いの装備の特性や性能を熟知しておくことの大切さを、参加者全員が改めて再認識する貴重な機会となりました。



団長挨拶

西消防団長

菊地 克明

きくち かつあき



第一分団 分団長
こなかわ なおと
粉川 尚人



第二分団 分団長
かたぬま あこ
片沼 亜子



第三分団 分団長
うじいえ まさひこ
氏家 雅彦

分団長挨拶

令和六年四月一日より、西消防団団長を拝命いたし、西消防団を率いることとなり、大変身の引き締まる思いとともに重責を感じております。

日頃より地域の皆様には、消防団活動にご理解とご協力を賜わり誠に有り難うございます。

西区は、横浜駅周辺、みなとみらい地区の高層マンション、大型商業施設の集中する地域から下町情緒を残した市街地まで多様な顔を持つている地域を管轄する『都市型消防団』です。

昨今の複雑多様化する災害に対応するべく様々な訓練、研修等を行ない消防署、消防団が一体となり防災力を高めて行きたいと考えております。

地域住民の皆様への防災指導等を通じて、これから災害に負けない街づくりに取り組んでまいります。

消防団員の皆様におかれましては、日頃の訓練や資機材点検等にご尽力頂き感謝致します。今後とも体調には十分気を付けて、西区の安全安心を守る為の消防団活動を宜しくお願い致します。

西消防団第一分団分団長の粉川です。日頃より当分団の活動に対し、地域の皆様から多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。現在、私たちは「自分たちの街は自分たちで守る」という強い使命感のもと、地域の防災訓練や防災指導に日々取り組んでおります。訓練を通じて皆様の熱心な姿勢に触れ、地域全体の防災意識の高まりを肌で感じております。

こうした活動の要となっているのが、当分団の団員たちです。皆、本業を抱えながらも貴重な時間を割いて訓練に励んでおり、その献身的な努力と前向きな姿勢には分団長として感謝の念が絶えません。また、有事の際に迅速かつ的確な活動を行うため、公設消防である西消防署とも密に連携を図り、共に訓練を重ねて体制を強化しております。団員が培った技術と、消防署との強固な協力体制こそが、地域を守る大きな力になると確信しております。

災害はいつ起こるか分かりません。今後も「顔の見える関係」を大切にし、団員一同精進してまいります。皆様が安心して暮らせる西区を築くため全力で邁進してまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

第二分団分団長の片沼です。当分団の管轄区域は道路が狭く、木造住宅が密集して生ずるため、延焼の危険が高い地域です。私たちはその特性を踏まえ、日頃からさまざまな訓練を重ね、地域の安全安心の確保に努めております。

令和七年度の横浜市消防操法技術訓練会では、団員一人ひとりが積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮し、優秀な成果を収めたこと、大変喜ばしい結果となりました。これも地域の皆様と、心より感謝申し上げます。

令和八年度は神奈川県消防操法技術訓練への出場を控え、より高いレベルが求められます。団員一同、これまでの以上に訓練に励み、確かな技術と強い団結力で臨む所存です。これから地域防災の力となれるよう精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日頃地域の皆様には、消防団活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

都市型消防団は複雑な立地条件から広範囲な対応力が必要とされます。中でも水辺、木造住宅密集地域、横浜駅周辺繁華街を抱える第三分団は多彩な訓練を実施してきました。

予想される災害に対し、基本的な訓練を重ね地域自治会に協力を呼びかけ、河川、一般公道、公園等を使用し実災害しながらの訓練を複数回実施してまいりました。

地域に根差した消防団をモットーに防災指導や地域防災拠点訓練、地域イベント等に積極的に参加するなどして安心安全の街づくりを心がけています。

西消防団の皆さま、日頃から地域のために活動していただき、本当にありがとうございます。2年目となりますが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

皆さまが訓練や防災指導に熱心に取り組んでくださっている姿は、地域の大きな安心につながっており、私自身、さまざまな場面で地域の方々から感謝と信頼の声をいただいています。

昨年度は、消防操法訓練で市大会2位という素晴らしい成果を挙げていただきました。また、火災だけでなく、震災や水難、交通事故など、さまざまな状況を想定した訓練を通じて、消防署との連携もいっそう深まった一年でした。

今年度は、より気軽に声を掛け合えるような関係づくりを進め、消防団の皆さまがより力を発揮できるよう一緒に取り組んでいきたいと考えています。

消防署としても、増加していく救急要請や多様な災害にしっかりと向き合い、地域の安全を守る体制を強化してまいります。

西区民の皆さまの安全・安心のために、今年度も共に力を合わせて頑張っていきたいと思います。

西消防署長 石黒 靖雄



本年4月、副署長に着任しました梶原と申します。横浜の玄関口である「横浜駅」を管轄する西消防団のみなさまと共に、『住む人、訪れる人が安心・安全を実感できる西区』の実現に向けて尽力してまいります。

初めての副署長職で、何かと行き届かない点もあるかと存じますが、一日も早く職責を全うしますので、これからどうぞよろしくお願いたします。

西消防署副署長 梶原 昌人



日頃より熱心な訓練に励み、火災現場では迅速かつ的確な活動を行っていたという、また日ごろから消防署の事業にも様々な支援をいただき、心より感謝申し上げます。令和8年度は消防操法訓練での県大会出場という、大変大きな目標にチャレンジすることになりますが、消防署も全力でバックアップしていきます。これからも署団で共に支えあいながら、地域を守っていきましょう。

前西消防署副署長 菅野 貴之



令和7年4月に警防課長に就任しました伊藤と申します。西消防署は2回目の勤務となります。以前は警防第一係長として勤務していましたが、いつも訓練や災害活動に従事していただきありがとうございます。特に昨年度、東久保町の火災では、消防団の放水活動により、被害を小さくすることができました。これからも、区民のため署団連携していきましょう。

西消防署警防課長 伊藤 亮太



地域を守る心強い「仲間」である消防団の皆さまには、日頃からの献身的なご尽力に心より敬意と深い感謝を申し上げます。皆さまの揺るぎない一致団結の力は、地域の安心と防災力を強く支えています。

これからも、皆さまと力を結集し、安全で強靱なまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。ともに頑張ります。

西消防署 警防第二担当課長 日比谷 岳徳



令和8年4月1日付で警防課警防第二担当課長に着任しました丸茂です。西消防団の皆さまには、日頃から地域防火防災のために多大なる御尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

署・団が力を合わせ、顔の見える関係を大切にしながら、西区の良さや伝統を生かした、より安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

西消防署 警防第二担当課長 丸茂 和美



消防団の方々には日ごろから様々な活動において御尽力いただき感謝申し上げます。

令和7年度では消防操法訓練で、素晴らしい結果が残せました。令和8年度には県大会が行われますので、西消防団の団結を一層強固にし、いい結果を期待してまいります。訓練を通じて、火災や震災等有事の際には、現場活動に生かせるよう継続して頑張ってください。

西消防署 前警防第二担当課長 松本 宏芳



境之谷消防出張所第二係長の吉川です。いつも忙しい中、西区の安全・安心のために、災害対応や訓練に励んでいただき感謝申し上げます。皆様の日々の努力と団結力を誇りに思います。これからも消防団の皆様と連携した訓練を実施し、より関係性を強固にしたいです。そして、神奈川県消防操法大会という大舞台で悔いのない結果を残せるように、一緒に頑張っていきたいと思います！



西消防署
境之谷消防出張所
前第二係長 吉川 裕太
よしかわ ゆうた

浅間町消防出張所第二係長の山岡です。2年目を迎えました。昨年は連携訓練などを通して皆さんと共に活動でき、感謝しております。大規模災害時は初動で消防力が大きく不足します。地域の被害を最小限に抑えるためには、皆さんお一人お一人の力が欠かせません。今年度も地域防災を担う「要」として共に訓練していきたいと思います。



西消防署
浅間町消防出張所
第二係長 山岡 史学
やまおか ふみさと



特別高度救助部隊
ホース延長車との連携訓練の様子

令和8年4月1日より、境之谷消防出張所第一係長に着任しました。斧口です。いつもお忙しい中、西区の安全・安心のため、災害対応や訓練、防災指導に取り組みたいと思います。誠にも消防団の皆様と連携訓練などを通じ、チームワークをより強固なものにし、共に西区を守りたいと考えています。お力添えよろしくお願い致します！



西消防署
境之谷消防出張所
第一係長 斧口 晃彦
おのぐち あきひこ



西消防署中庭での夜間連携訓練の様子

消防団係長の木工保です。令和7年度は災害対応や花火大会警備、各種イベントでの防災啓発など、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。消防操法訓練では市大会2位と素晴らしい成果を挙げ、また、他の訓練においても積極的な取り組みが西消防団全体の士気の向上や、防災力のさらなる強化につながっていると感じております。今後も、皆様の消防団活動がより充実し、魅力あるものとなるよう、共に取り組んでまいります。



西消防署
消防団係長 木工保 喬
おおくぼ たかし

消防団と消防署の連携で地域の安全と安心を守る



消防団は、消防署と同じ消防組織法で定められた消防機関です。横浜市消防団は、非常勤特別職地方公務員で、普段は本来の仕事や学業、家事をしながら、その地域での経験を活かし災害その他の必要な時に活動します。西消防団は、西消防署と日頃の訓練や講習において顔の見える関係を築き、火災発生時における消火活動や、地震や風水害などの大規模災害時の各種活動、また、平常時においても応急手当の普及指導、地域への防災指導、特別警戒、広報活動等を実施し、地域防災力の向上に重要な役割を担っています。

YOKOHAMA NISHI FIRE CORPS

横浜市西消防団 団員募集中

西消防団への入団をご希望の方は
西消防署 消防団係までご連絡ください。

TEL : 045-313-0119



入団申請



PR動画

